

令和元年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報告書



日時	令和元年9月30日（月）	午後6時30分～8時10分
場所	南コミセン	
参加者数	32人	
市側出席者	市長	北 猛俊
	副市長	石井 隆
	教育長	近内 栄一
	総務部長	稲葉 武則
	市民生活部長	山下 俊明
	経済部長	後藤 正紀
	建設水道部長	小野 豊
	教育部長	亀渕 雅彦
	ぶどう果樹研究所長	川上 勝義
	高齢者福祉課長	井口 由理恵
	企画振興課長	西野 成紀

【市長 開会のあいさつ】

今日で地域懇談会は4会場目になります。緑町、扇町、南町のみなさんにお集まりいただき、お礼を申し上げます。

今回の地域懇談会は、「これからの富良野市のまちそだて」ということと、この地域会館でも活発に活動をされていることがみられますが、この地域の課題や問題もあると思いますので、ご意見を寄せてもらいたいと思います。

昨年の地域懇談会では、JRと市庁舎の問題を説明しましたが、そのうち、JR北海道の対応は、関係する沿線自治体が乗車率の向上やJRの運行に関する啓発を目的としてアクションプランを策定するなど、さまざまな取り組みを今年と来年の2年間で進められていきます。そのなかでは、地域のみなさんにもご尽力をお願いしたいと思います。また、緊急的、臨時的な財政支援ということで、JR北海道の利便性向上のための支援の額も決まりました。北海道は6月議会で決定し、富良野市は9月の補正予算でかたちをつくりました。北海道の負担もあわせて総額2億円で、そのうち富良野市の負担は150万円となっています。このことは2年間続けていきますので、来年も150万円を負担することになると思います。そうした取り組みのなかで、国が令和3年からのJR北海道に対する財政支援の在りようを決めていくこととなりますので、これからも北海道全域としての要望を国に伝えていく動きが同時に進められていきますので、ご理解をいただきたいと思います。

地域の課題を解決しながら住みよいまちづくりを進めていきますが、「富良野市のまちそだて」では今年と来年の2年間をかけて新しい総合計画の策定をします。令和3年からの新しい総合計画です。そのなかで取り組む内容をみなさんからのご意見をいただきたいと思いますということで、この地域懇談会を開催しています。

総合計画といっても、自分たちの生活の中でこんなところが改善できたら良いな、利便性が上がれば良いなということや、消費税が上がって生活の負担が増えている中、どこかで負担感を下げていくような取り組みも行政として進めていきたいと思っています。

【懇談会の意見と回答】

市民協働

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○合同墓の申込状況を教えてほしい	○冬期間は使えませんので申し込みは5月から10月くらいを予定しています。申込件数は予定よりも多く、8月末で33件82体を納骨しています。内訳は自宅で持っていた人が18%、お寺に預けていた人が23%、墓地の墓じまいが59%です。来年以降は年間平均50件程度になると見込んでいます。

福祉・社会保障（地域福祉）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○民生委員が改選になるがなり手がいない。欠員になるがそれで良いのか。	○9月末で10カ所が未定です。そのなかでも候補者の目処が立っていない町内は数カ所あります。これからも継続して、市も一緒に行って説明していきたいと思いますので、できるだけ選出してもらおうようお願いします。 ○人口減少と高齢化によって地域コミュニティが非常に厳しいと言われていています。小さい組織では役員を選出できないという課題があります。どういうコミュニティが良いのかを地域の方と話をしながらつくっていくこととなりますので、民生委員も同じことだと思っています。地域コミュニティは高齢化の中ではより必要になってきますので、協力をしていただきながら進めていきたいと思っています。

福祉・社会保障（社会保障）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○消費税が上がるが市民にどのような助成があるのか教えてほしい	○国で低所得者と子育て世帯を対象にプレミアム商品券を進めています。これとは別に市独自で例年やっているプレミアム商品券も年末に販売します。
○住宅を中富良野町に建てる人が増えている。中富良野で住宅を建てると100万円もらえる。南富良野町は20歳まで医療費無料。近隣町村と目に見えるような差があるのは問題ではないか。	

産業（農業）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○東郷ダムは最初の計画では430万トンだったものが18万トンになった。実績が24分の1なら支払う金もそうならないのか。	○東郷ダムは昭和47年から始まり、この間に受益面積が変わりました。4回の計画変更にともない、実際に水が溜らないということもあり18万トンになりました。受益面積は水田がなくなりすべて畑となったことから水を使う量が減りました。単純に水の量だけの負担ではなく、これまでの工事の経緯も含めて国や道、市町村、受益者でそれぞれ負担することになっています。

産業（森林保全）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○景観をよくするために、なまこ山の桜が10年前から見ると3分の1になっている、半分	

<p>以上が老木で朽ちている。北の峰側の千本桜も半分がダメになっている。年寄りが7千人いる。そのうちの半分に声をかけて苗木を育ててもらって、森林組合や演習林、種苗園からサクラの種を集めて3年くらいで4千本くらい植えてほしい。</p>	
--	--

防災（防災体制）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○ペットを飼っている人の避難について、国の環境庁でマニュアルを出しているので、参考に市でも取り組んでほしい。</p>	<p>○ペットが避難する場所は、普通の避難所ではなく別の場所を検討しているところです。</p>

基盤整備（交通体系）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○JRは、高齢になると車が使えなくなり必要となるので存続に向けて努力してもらいたい。</p>	
<p>○隣近所の人たちも自転車に乗っているが危ないので、町内を回るような車を走らせてほしい。</p>	<p>○車でどこにでも行けるといのは生きがいにもなりますので、考えていくべきだと思っています。</p> <p>○公共交通機関ということで、ふらのバスが第3セクターで行っています。麻町でバスを回していますが、それを広く回して止まる場所を増やすことはできないかと検討してもらっています。それができれば少し利便性が上がると思っています。まだコースを選択している最中ですが、そういう動きはあります。</p>

基盤整備（新庁舎）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○これまでに、パブリックコメントを参考にして訂正したような事例はあるのか。市庁舎は、懇談会や説明会でもいろんなことが言われているが、訂正したものはあるのか。</p>	<p>○市庁舎のパブリックコメントでは、基本設計の変更となる意見はありませんでしたが、実施設計の中で活用しています。</p>
<p>○新庁舎は高齢者に配慮し、エレベーターを設置してほしい</p>	<p>○新庁舎にはエレベーターを設置します。</p>
<p>○現在の保健センターと文化会館はどうなるのか。</p>	<p>○保健センターには、1階に保健医療課、2階に福祉課と高齢者福祉課が入っていますが、福祉課と高齢者福祉課は新庁舎に移転しますので保健センターの2階部分が空きますが、ほかの老朽化した施設を移転するなどして有効利用します。</p> <p>○文化会館には、市民協働課と社会教育課が入っていますが、新庁舎に移転したあとに文化会館は解体します。新庁舎の建設は、できるだけ集約することを目的にしています。</p> <p>○国の施策で集約化する動きがあります。市としても集約化が図れるような公共施設の総合計画を作り、今後どのように利用していくのか、修繕をするのかということを検討します。保健センターは新しいので今後も使っていきます。</p>
<p>○予算には項目がある。削った予算を別の項目に回さないでほしい。予算を増やす場合は議会の承認を得てほしい。東郷ダムのように終わったら金額が大きくなっていったということはやめてほしい。</p>	<p>○新庁舎の建設工事費は、建設工事費、電気工事費、衛生設備工事費を積算し、議会に提案しますが、予算額が変わるときには議会にかけることとなります。</p>
<p>○市では30年後の人口推計、市職員の人数、市内の働き手の人数、外国人労働者など、総合</p>	<p>○仮に30年後の人口が1万4千人になったときに、市職員の人数が現在と同じとは考えて</p>

<p>的な計画を立てるのであれば、そうした統計を各所に網羅するべき。例えば30年後の人口が1万4千人になるのであれば、市民一人当たりの負担割合がどのように変化するのか。長期的なまちづくりの計画は30年を見据えるというかたちの中で、中長期で5年ごとに見直すとか、10年で1回区切りを付けるとかを説明し、理解を求めてほしい。</p>	<p>いません。新庁舎は職員数が減ったときに空いたスペースを他の用途にも使えるようなユニバーサルレイアウトを採用しています。</p>
<p>○新庁舎が出来上がったときに周辺には何ができるのか。市内を見ると協会病院は駅の反対側にある。5条通り商店街と駅前も整備されている。市役所だけが今の場所にあって、その周辺には何もないのであれば将来的に不足している。市民が集える場所にしたいのであれば、例えばコンビニがあるとか、レストラン街があるとか、集客できるものが庁舎の周りに必要ではないか。長期的にみて市民に庁舎へ来てもらいたいと考えるのであれば、もっと知恵を絞って検討してほしい。</p>	<p>○中心市街地活性化は街の中心77.1ヘクタールを対象とし、本通りからの一角全部が入っています。そのうちの30ヘクタールを重点地区としています。本通りに、にぎわいを創出したいということで、コンシェルジュを整備してホテルラビスタと本通りがつながるようにしながら、中心市街地活性化をしようという動きになっています。にぎわいが本通りにできるかたちを思い浮かべながら進めているところです。</p>
<p>○新庁舎建設費の償還に毎年1億5千万かかるとしたら、年間予算から義務的経費の額を差し引くと、市民サービスに影響が出るのではないか。</p>	<p>○市では毎年10億円くらいの借金を返済しています。返済は年次的に終わっていきます。新庁舎建設の返済分は、返済が終わったものと同額くらいで推移していきますので、市民サービスに支障がでないように計画しています。</p>

基盤整備（維持管理）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○堤防沿いの若葉通りが緑町扇町をって国道につながっているが、グレーダーが開発の官舎のところで終わるので、国道まで処理してほしい。</p>	<p>○状況を確認して適切に対応します。</p>

行財政運営（人口）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○死亡率と出生率をみると出生率の方が少ないが、市としてどのような取り組みをしていくのか。</p>	<p>○出生数は平成 28 年から増加傾向ですが、教育委員会では子ども未来課を中心に、令和 2 年度からの子ども子育て支援計画を策定しています。出生推計をみると右肩上がりでの推移にはなっていません。その原因は、出産適齢期の女性の数が社会減による転出の影響で減少していることが考えられます。計画の中では、少しでも子育て支援ができるようなメニューを検討していきたいと思います。教育委員会だけでなく、ほかの部署と横断的に論議をしながら少しでも子育てをしやすいまちづくりをしていきたいと思います。</p>

行財政運営（組織）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○正職員と非正規職員の賃金格差は時給にするとどのくらいか</p>	<p>○正規職員は 265 人、非正規職員は 200 人くらいです。非正規職員の時給は、道の最低賃金より少し高くなっています。正職員は道職員や国の職員の基準に合わせています。</p> <p>○来年度から国の同一労働同一賃金の考え方に準じて、富良野市でも非正規労働者の処遇改善を行います。</p>

【市長 閉会のあいさつ】

本日いただいたご意見、地域の課題をもとに次のまちづくりと総合計画に資する取り組みをしていきたいと思っております。今までは行政が一方的に予算を組んで事業を実施してきましたが、人口や働き手が減るとい時代を迎えるので、市民のみなさんにも協力していただいて、一緒に事業をつくっていく動きが必要だと思っています。

そういうことも新しい総合計画に盛り込んでいきたいと思っております。

行財政運営（人口）

人口推計では1万4千人ですが、新しい総合計画では富良野市のまちづくりを進めていくためには、人口が何人必要かということも計画のなかに盛り込んでいきたいと思っております。人口は、理想では2万人を維持していきたいと言ってきましたが、年間で300人減っている現状をみると、5年後には2万人を切りまします。積極的に、富良野市の人口が何人規模なら若い世代を雇用できるのか。市内の学校を卒業する子どもたちが残る環境をつくっていけるのか。そういう中で人口減少や少子化対策にまちづくりの手法が生かされればと思っています。

産業（雇用）

社会が抱えている状況は、人口が減っていき働き手が不足する時代を迎えますが、働き手をどのように確保するのかというのでは、外国人労働力という話もありましたが、物理的に足りないものを補充していくこともひとつの施策です。効率を上げて業務を軽減していくこともひとつの取り組みだと思っています。その最先端となるICTやAI、ロボティクスを活用しながら、不足する労働力に置き換えて市民サービスが低下しないように、充実できるような体制を整えることも大切です。

基盤整備（交通体系）

高齢者の移動手段の確保では、ふらのバスの取り組みもありますが運転手が不足する状況です。例えば大型のバスではなく、何人が乗車できる車両を自動運転で市内を走らせることができれば、高齢者の移動手段の確保にも役立つものと思っています。

行財政運営（ICTの活用）

除雪車両に現在地が常に把握できる体制もICTの活用で可能になります。どこが滞っているのか、どこまで進んでいるのかということが瞬時に判別でき、その対応が即時可能になるということも実現できるのではないかと考えています。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
70 歳以上	男性	集会のときだけ市民市民と口にするのではなく、市政を行ってほしい